

2026年3月期 第3四半期 決算短信補足資料

2026/2/12

オカダアイヨン株式会社（東証プライム 6294）

01

業績サマリー（26/3期3Q）

売上高

19,598百万円（前年同期比 +0.3%）

営業利益

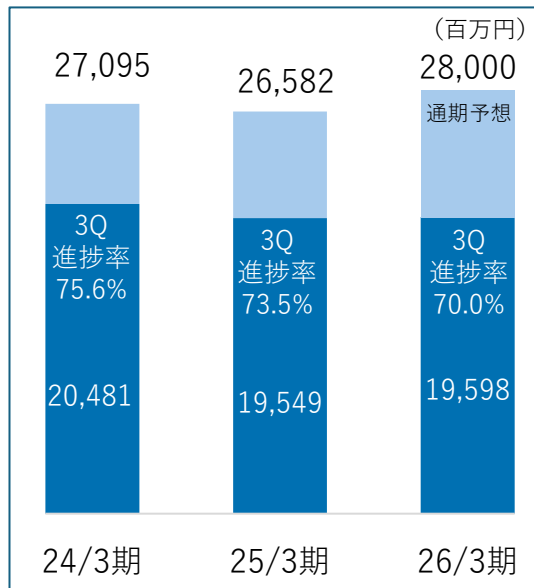
1,934百万円（前年同期比 +6.6%）

経常利益

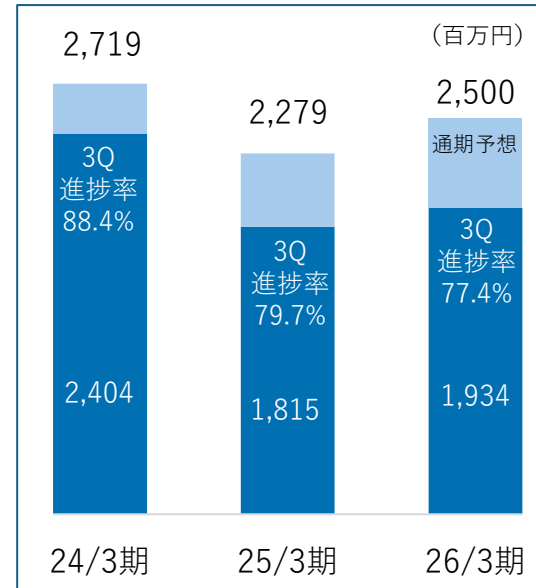
2,016百万円（前年同期比 +6.7%）

当期純利益

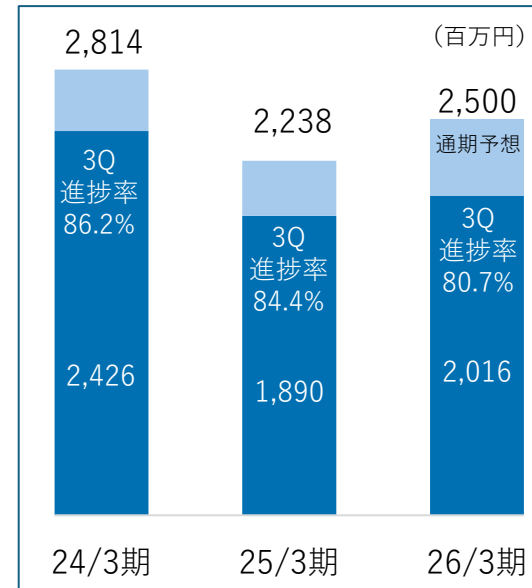
1,406百万円（前年同期比 +9.5%）



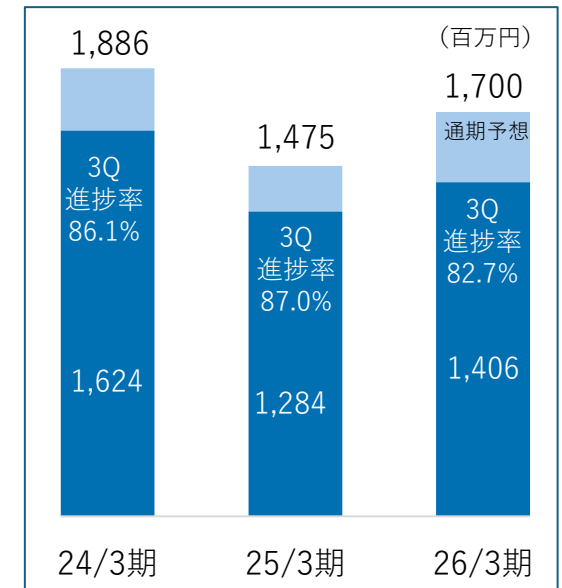
【売上高】



【営業利益】



【経常利益】



【当期純利益】

01

業績（26/3期3Q）及び通期予想

- 売上は、前年同期比微増収。利益は、価格改定とコスト削減が寄与し増益。
尚、通期見通しは変更していません。

（百万円）

	25/3期 3Q実績	26/3期 3Q実績	前年同期比		26/3期 通期予想	進捗率（％）
			増減（額）	増減（％）		
売上高	19,549	19,598	49	0.3	28,000	70.0
売上総利益	5,819	6,011	192	3.3	—	—
販売費及び一般管理費	4,003	4,076	73	1.8	—	—
営業利益	1,815	1,934	119	6.6	2,500	77.4
経常利益	1,890	2,016	126	6.7	2,500	80.7
四半期純利益（当社株主帰属）	1,284	1,406	122	9.5	1,700	82.7

為替平均使用レート

ドル： 153円
ユーロ：165円

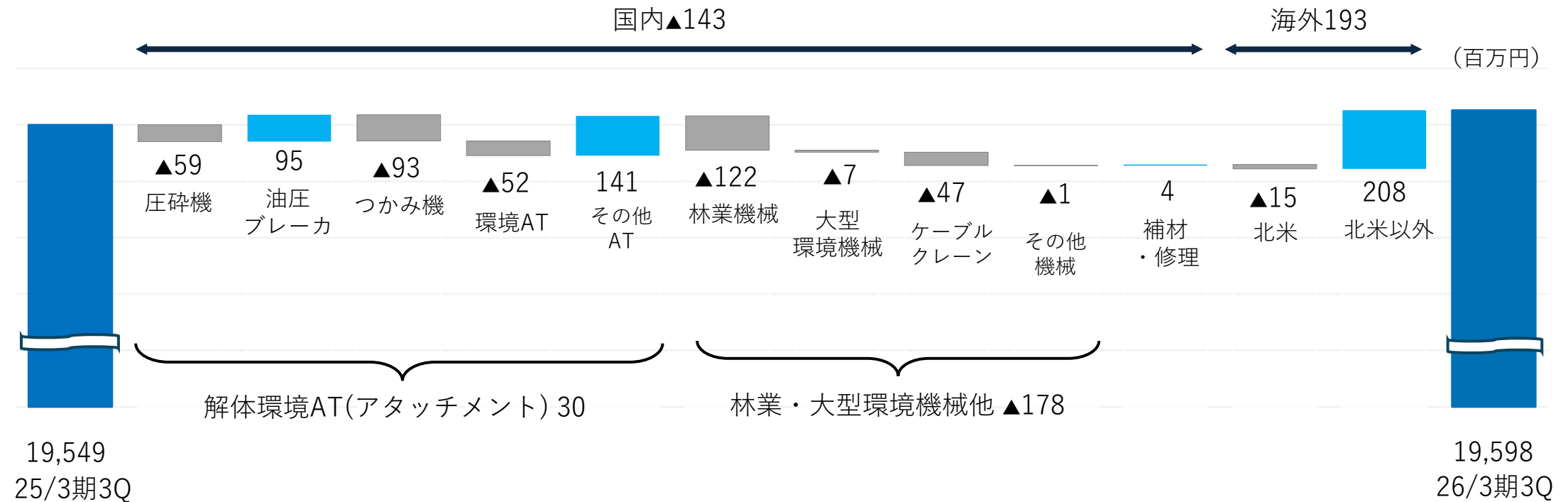
ドル： 148円
ユーロ：169円

※26/3期の為替想定レートは、ドル：145円、ユーロ155円

02

売上高増減要因（26/3期3Q）

- 国内は、鉄骨カッターが増収も、大割機・小割機が人手不足や建設費高騰による工事先送り等の影響で減収となり、圧碎機全体として減収。油圧ブレーカは、着実に伸び増収。アフタービジネスは、原材料売上が微減も修理売上高の底堅い伸びでカバーし増収。
- 海外は、北米では、オカダアメリカでレンタル各社の在庫調整などによる買い控えの影響は回復傾向も、オカダミッドウエストでのエンドユーザー向け商製品の販売減が響き減収。北米以外は、欧州、アジアとも販売が拡大し増収。



02

機種別売上推移（26/3期3Q）

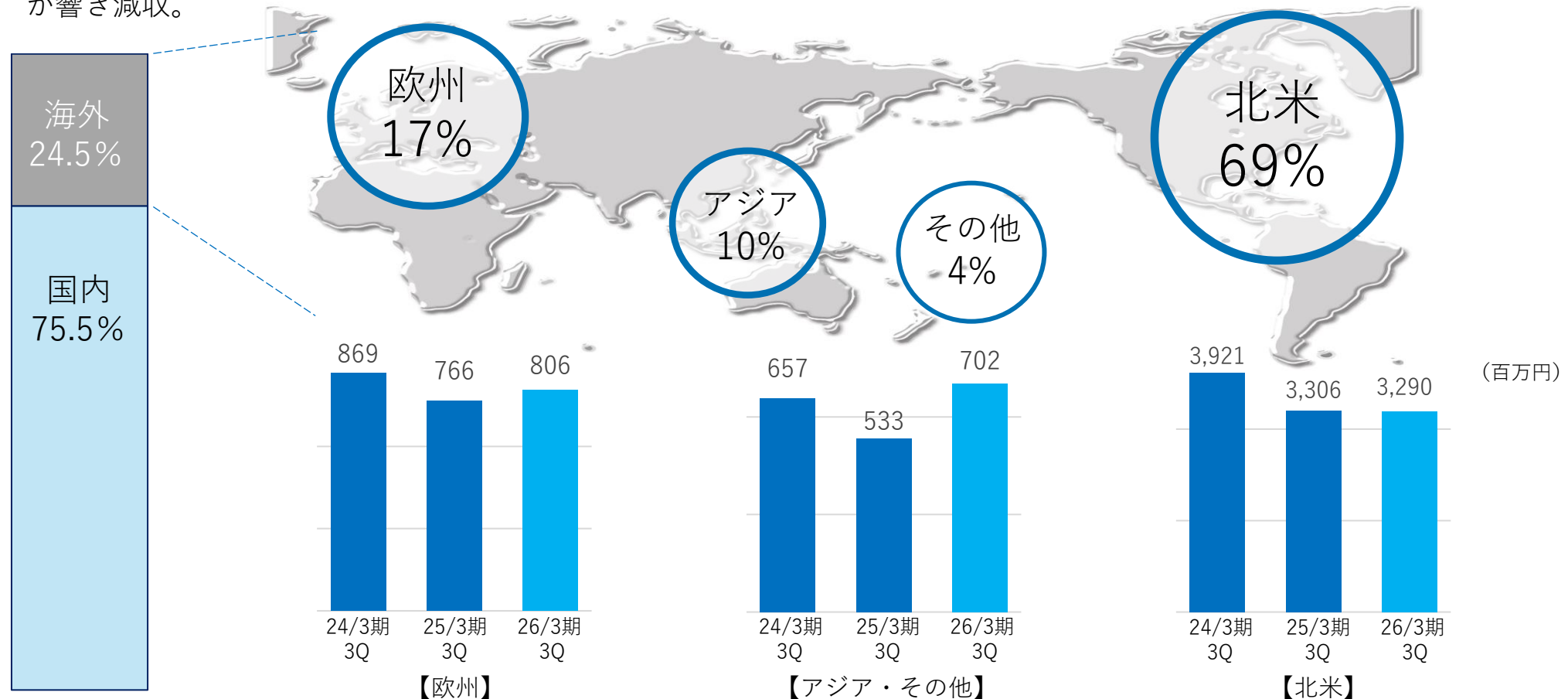
（百万円）

			24/3期 3Q	25/3期 3Q	26/3期 3Q	前年同期比		前々年同期比
						金額	増減（%）	増減（%）
国内	解体環境 アタッチメント	圧碎機	6,134	6,873	6,813	▲ 59	▲ 0.9	11.1
		油圧ブレーカ	691	599	694	95	15.8	0.4
		つかみ機	1,007	1,071	977	▲ 93	▲ 8.7	▲ 3.0
		環境アタッチメント	394	396	343	▲ 52	▲ 13.3	▲ 12.9
		その他アタッチメント	936	802	944	141	17.6	0.8
		計	9,164	9,743	9,773	30	0.3	6.6
	林業・大型 環境機械・その他	林業機械	1,440	1,360	1,238	▲ 122	▲ 9.0	▲ 14.0
		大型環境機械	545	438	431	▲ 7	▲ 1.7	▲ 21.0
		ケーブルクレーン	1,158	899	852	▲ 47	▲ 5.3	▲ 26.5
		その他機械	267	112	111	▲ 1	▲ 1.1	▲ 58.2
		計	3,412	2,812	2,633	▲ 178	▲ 6.3	▲ 22.8
	アフター サービス	補材	1,590	1,537	1,497	▲ 39	▲ 2.6	▲ 5.8
		修理	866	850	894	44	5.2	3.3
		計	2,456	2,387	2,392	4	0.2	▲ 2.6
国内セグメント計			15,033	14,943	14,799	▲ 143	▲ 1.0	▲ 1.6
海外	北米地域		3,921	3,306	3,290	▲ 15	▲ 0.5	▲ 16.1
	欧州地域		869	766	806	39	5.2	▲ 7.3
	アジア地域（中国含まず）		447	333	503	170	51.2	12.7
	その他		209	199	198	▲ 1	▲ 0.7	▲ 5.4
海外セグメント計			5,448	4,606	4,799	193	4.2	▲ 11.9
連結計			20,481	19,549	19,598	49	0.3	▲ 4.3

02

海外 地域別売上構成（26/3期3Q）

- 欧州では、一昨年後半からの需要の減速影響は受けつつも、圧砕機販売が伸びた事などから増収。アジアでは、インド、タイ、台湾等で販売が拡大し増収。北米では、オカダアメリカでの在庫調整影響は回復傾向も、オカダミッドウェストの商製品販売減が響き減収。

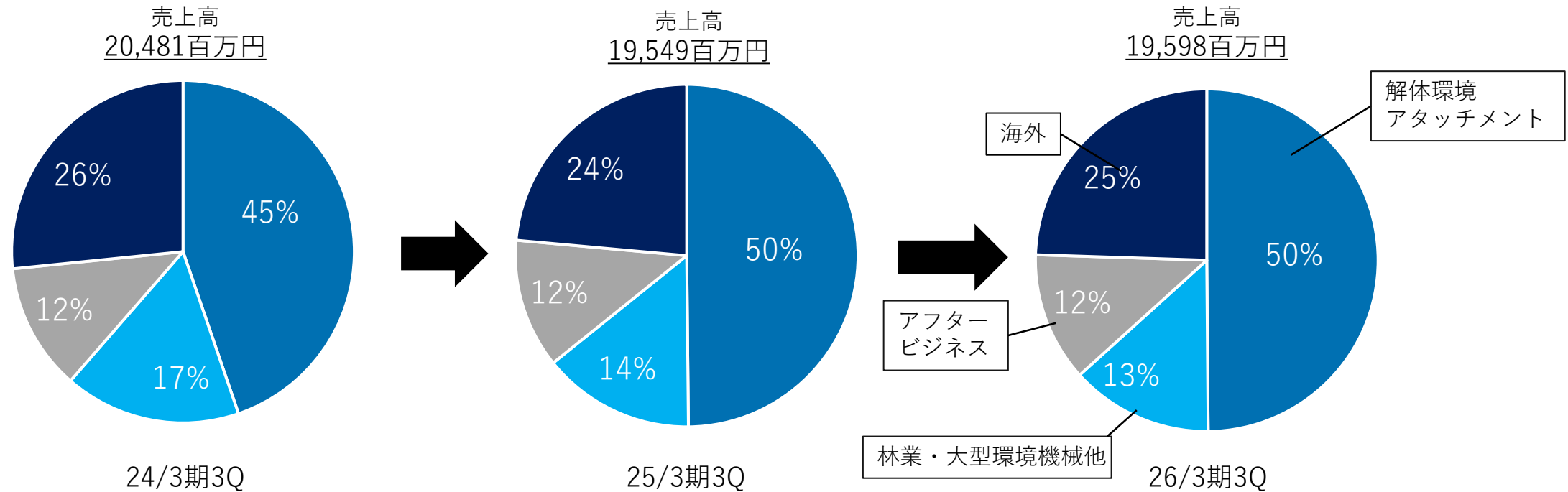


02

セグメント・事業別 売上比率推移（26/3期3Q）

● 林業・大型環境機械他の減収を海外の増収が補ったため、前年同期比でそれぞれの比率が増減。

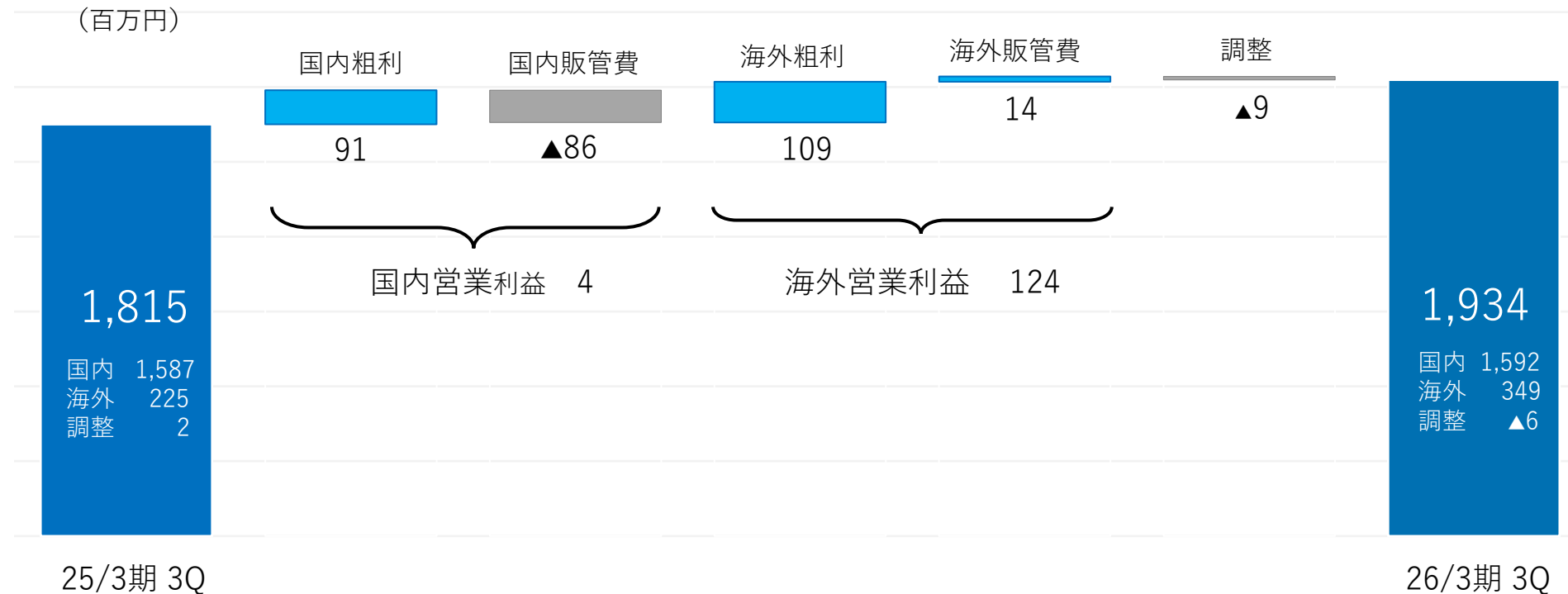
※各セグメント明細は P.5 機種別売上推移参照



02

営業利益増減（26/3期3Q）

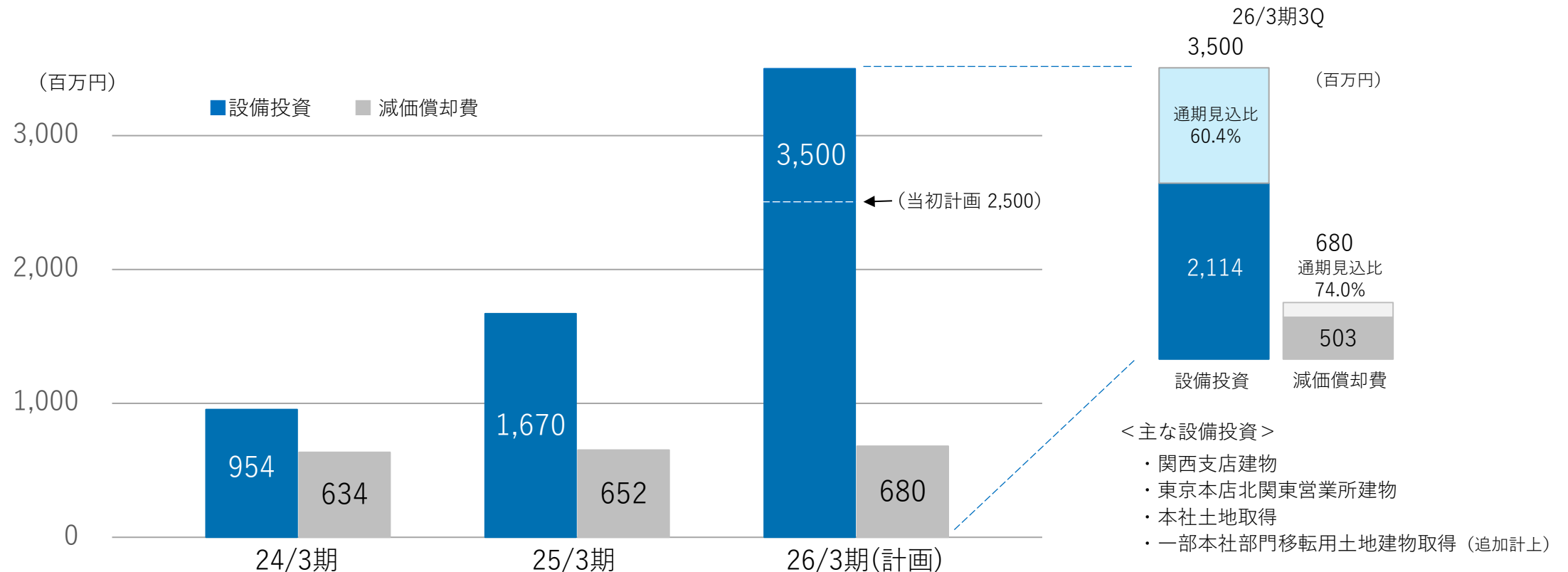
- 国内は、原材料価格の上昇に対応した販売価格の値上げにより利益を維持でき、増益。
- 海外は、特に北米・オカダアメリカでの増収効果や経費の見直し等により、増益。



02

設備投資・減価償却費計画

- 今後も中長期的に需要増が見込まれる都心部の店舗拡張に注力しており、今期は、関西支店の移転新設建物費用、東京本店北関東営業所の新設建物費用、本社土地取得費用を当初計上し、その後、一部本社部門移転用に土地建物取得費用を1,000百万円追加計上したことにより、設備投資額が当初計画の2,500百万円から3,500百万円となった。

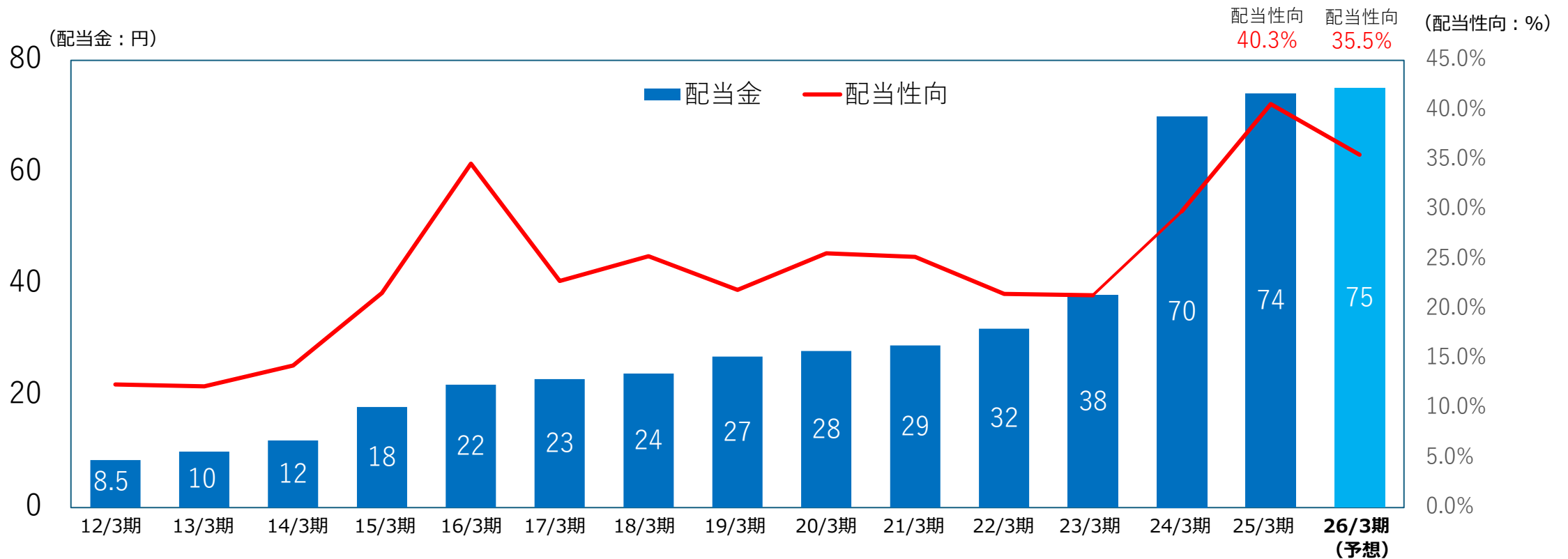


03

株主還元：配当実績と計画

配当方針：事業安定成長のもと、①累進的配当 ②配当性向30%以上 を目標とする。

- 25/3期は、前期比4円増配の年間74円の配当を実施。
- 26/3期は、前期比1円増配の年間75円の配当を予想（16年連続増配）。

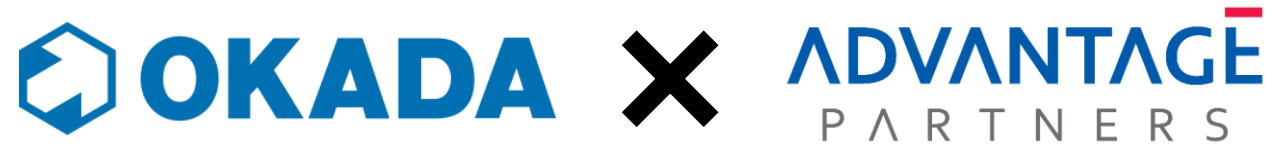


04

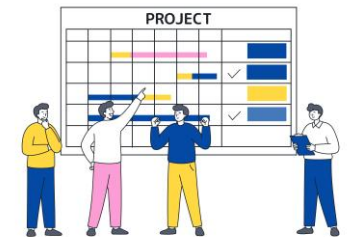
成長戦略：APプロジェクト進捗

企業価値向上の実現に向け、成長戦略を加速させるため

(株)アドバンテッジパートナーズ（AP社）と事業提携のうえ、資金調達を実施



- ・ 2025年12月10日、事業提携開始（当初予定どおり）。
- ・ 現在、下記4つのプロジェクトを立ち上げ、数値目標設定へ向け活動中。
 - 国内事業：
 - ① プライシング向上
 - ② LTV（Lifetime Value：顧客生涯価値）最大化（アフター事業強化）
 - 海外事業：
 - ③ 北米成長戦略
 - 経営基盤強化策：
 - ④ 在庫最適化／キャッシュフロー改善
- ・ **2026年5月、数値目標開示予定**（本決算発表時。2027年度以降の経営計画に含めて）



04

成長戦略：国内拠点拡充

- 2026年1月、関西支店を移転・新築拡張
- 営業所設備を計画的に増強し、増産体制とメンテナンス体制を強化。
更なる成長を目指し、計画的に設備増強を図る予定。



本資料に掲載されている計画、見通しに関する内容については、
当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に
基づき判断した予想であり、リスクや不確定要素を含んでいます。
従いまして、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約、あるいは
保証するものではありません。



オカダアイヨン

お問い合わせ



オカダアイヨン株式会社
IR・広報チーム



soumu@aiyon.co.jp



<https://okadaaiyon.com>